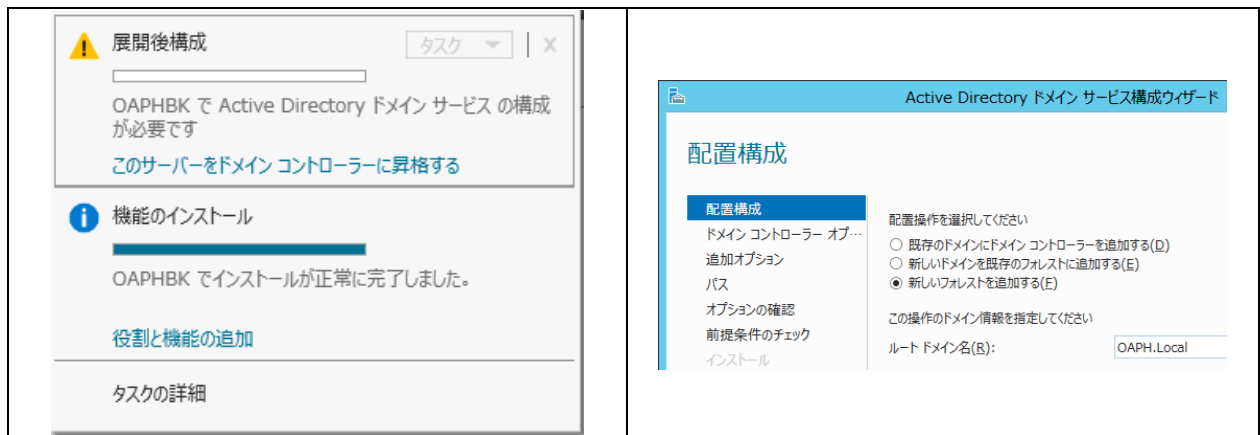
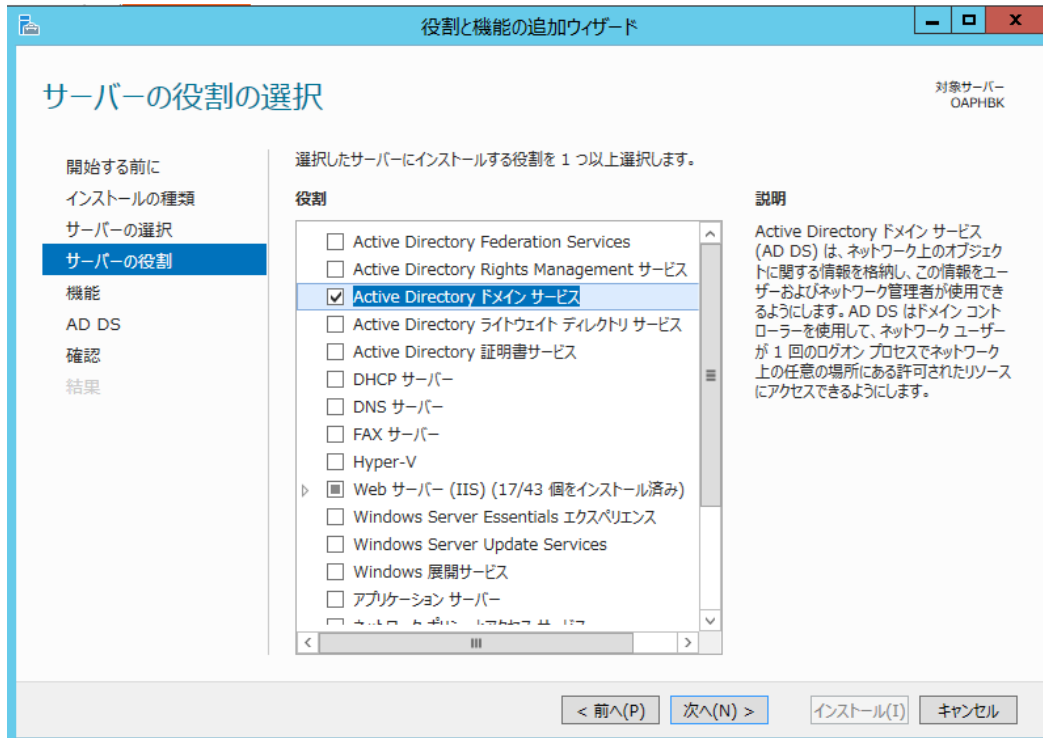


1. Office2010x64 のインストール
2. .NET3.5 のインストール
3. Active Directory のインストール



展開後、ドメインコントローラーにします。

4. リモートデスクトップサービス

1 台で構成するので、クイックスタートでインストールします。

インストールの種類を選択

対象サーバー
サーバーが選択されていません。

- 開始する前に
- インストールの種類
- 展開の種類
- 展開シナリオ
- 役割サービス
- RD 接続プロカー
- RD Web アクセス
- RD 仮想化ホスト
- 確認
- 完了

インストールの種類を選択します。役割および機能は、実行中の物理コンピューター、仮想コンピューター、またはオフラインの仮想ハード ディスク (VHD) にインストールできます。

- 役割ベースまたは機能ベースのインストール
役割、役割サービス、および機能を追加して、1 台のサーバーを構成します。
- リモート デスクトップ サービスのインストール**
仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI) に必要な役割サービスをインストールして、仮想マシン ベースまたはセッション ベースのデスクトップ展開を作成します。

展開の種類を選択

対象サーバー
サーバーが選択されていません

- 開始する前に
- インストールの種類
- 展開の種類
- 展開シナリオ
- サーバーの選択
- 仮想デスクトップ テンプレート
- 確認
- 完了

リモート デスクトップ サービスは、複数のサーバーまたは 1 台のサーバーに構成できます。

- 標準の展開(S)
標準の展開では、複数のサーバーにリモート デスクトップ サービスを展開できます。
- クイックスタート(Q)**
クイック スタートでは、1 台のサーバーにリモート デスクトップ サービスを展開できます。また、コレクションが作成され、RemoteApp プログラムが公開されます。

展開シナリオの選択

対象サーバー
クイック スタートを選択

- 開始する前に
- インストールの種類
- 展開の種類
- 展開シナリオ
- サーバーの選択
- 確認
- 完了

リモート デスクトップ サービスを構成すると、ユーザーは仮想デスクトップ、RemoteApp プログラム、およびセッションベースのデスクトップに接続できます。

- 仮想マシン ベースのデスクトップ展開(V)
仮想マシン ベースのデスクトップ展開を使用すると、ユーザーは公開された RemoteApp プログラムと仮想デスクトップが含まれた仮想デスクトップ コレクションに接続できます。
- セッション ベースのデスクトップ展開(S)**
セッション ベースのデスクトップ展開では、ユーザーは RemoteApp プログラムとセッション ベースのデスクトップが含まれたセッション コレクションに接続できます。

サーバーの選択

対象サーバー
クイック スタートを選択

開始する前に
インストールの種類
展開の種類
展開シナリオ
サーバーの選択
確認
完了

クイック スタートでは、RD 接続ブローカー、RD Web アクセス、および RD セッション ホスト 役割サービスを同一サーバーにインストールします。

サーバー プール

フィルター:

名前	IP アドレス	オペレーティ
OAPHBK.OAPH.Local	192.168.1.168	

1 台のコンピューターが見つかりました

選択済み

コンピューター

- ▲ OAPH.LOCAL (1)
- OAPHBK

1 台のコンピューターが選択されました

i OAPH¥administrator アカウントの資格情報を使用して、展開を作成します。

選択内容の確認

対象サーバー
OAPHBK.OAPH.Local

開始する前に
インストールの種類
展開の種類
展開シナリオ
サーバーの選択
確認
完了

インストールを完了するには、対象サーバーを再起動する必要があります。

次の役割サービスが、OAPHBK.OAPH.Local という名前のサーバーにインストールされます。

- RD 接続ブローカー
- RD Web アクセス
- RD セッション ホスト

! サーバーは、役割サービスをインストールすると再起動されます。Domain Users セキュリティ グループがサーバーの Remote Desktop Users セキュリティ グループに追加されます。

必要に応じてターゲット サーバーを自動的に再起動する(R)

Windows Server 2012 R2

! リモート デスクトップ ライセンス モードが構成されていません。 ×
リモート デスクトップ サービスの機能は、119 日以内に停止します。RD 接続ブローカーサーバー上でサーバー マネージャーを使用して、リモート デスクトップ ライセンス モードとライセンスサーバーを指定してください。

17:17
2015/07/31

直後、警告が出ます。

5. リモートディスクライセンスサーバーの追加

サーバーの選択

サーバーの選択

確認

結果

このウィザードでは、RD ライセンス サーバーを展開に追加できます。RD ライセンス 役割サービスをインストールするサーバーを選択してください。

サーバー プール

フィルター:

名前	IP アドレス	オペレー
OAPHBK.OAPH.Local	192.168.1.168	

1 台のコンピューターが見つかりました

選択済み

コンピューター

- ▲ OAPH.LOCAL (1)
- OAPHBK

1 台のコンピューターが選択されました

i OAPH¥administrator アカウントの資格情報を使用して、サーバーを追加します。

展開の概要
RD 接続ブローカー サーバー: OAPHBK.OAPH.Local
管理方法: OAPH¥administrator

RD Web アクセス

+

RD ゲートウェイ

RD ライセンス

↓

追加されました

RD 接続ブローカー

↓

RD 仮想化ホスト

RD セッション ホスト

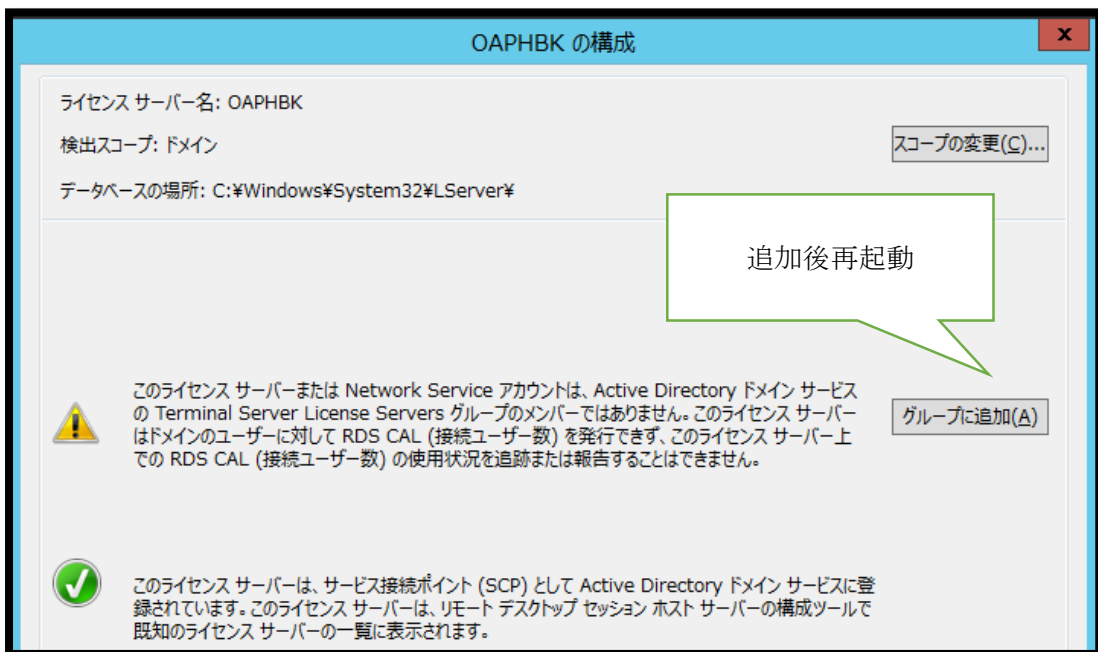
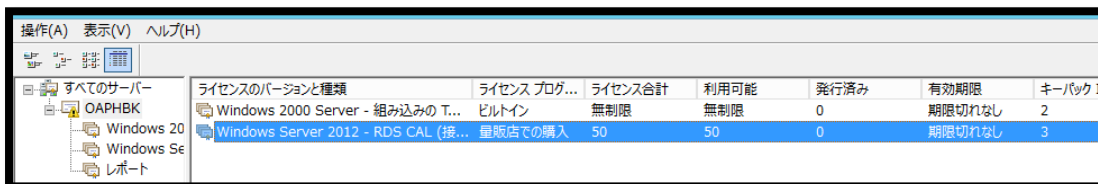
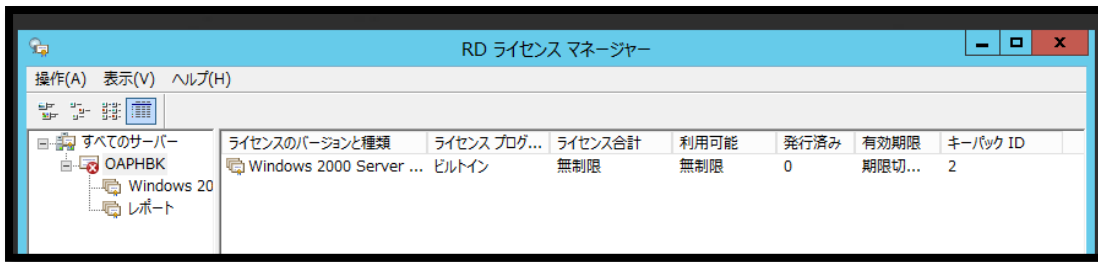
Quick...

展開サーバー
最終更新日 2015/07/31 18:38:41 | すべての RDS 役割サ

フィルター

サーバー FQDN	インストールされた役割サービス
OAPHBK.OAPH.LOCAL	RD 接続ブローカー
OAPHBK.OAPH.LOCAL	RD セッション ホスト
OAPHBK.OAPH.LOCAL	RD ライセンス
OAPHBK.OAPH.LOCAL	RD Web アクセス

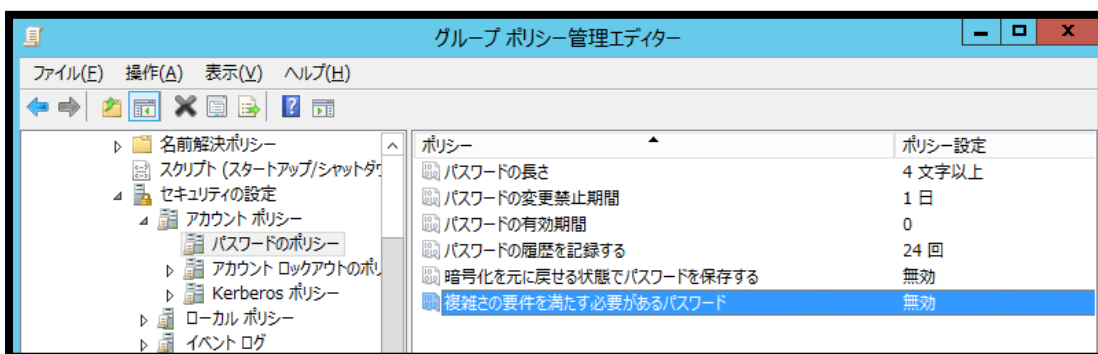
ライセンスサーバーの構成



6. パスワードのポリシー変更-これは任意

Default Domain Policy のところで 右クリックで 編集へ

Windows の設定からアカウントのポリシーの設定



7. Office ターミナルライセンスの追加



ライセンス認証された製品

Microsoft Office Professional Plus 2010
 この製品には以下が含まれます。Microsoft Access, Microsoft Excel, Microsoft SharePoint Workspace, Microsoft OneNote, Microsoft Outlook, Microsoft PowerPoint, Microsoft Publisher, Microsoft Word, Microsoft InfoPath.

ライセンス認証された製品

Microsoft Office Professional Plus 2010
 この製品には以下が含まれます。Microsoft Access, Microsoft Excel, Microsoft SharePoint Workspace, Microsoft OneNote, Microsoft Outlook, Microsoft PowerPoint, Microsoft Publisher, Microsoft Word, Microsoft InfoPath.

Microsoft Excel のバージョン情報

バージョン: 14.0.4760.1000 (64 ビット)
[バージョンと著作権の追加情報](#)
 Microsoft Office Professional Plus 2010 の一部
 © 2010 Microsoft Corporation. All rights reserved.
[マイクロソフトカスタマー サービス & サポート](#)
 プロダクト ID: 02337-383-2820196-38396
[マイクロソフトソフトウェア ライセンス条項](#)

8. SQL Server 2014 インストール

機能の選択

インストールする Standard 機能を選択します。

プロダクト キー

ライセンス条項

グローバル ルール

製品の更新プログラム

セットアップ ファイルのインストール

インストール ルール

セットアップ ロール

機能の選択

機能ルール

インスタンスの構成

サーバーの構成

データベース エンジンの構成

機能構成ルール

インストールの準備完了

インストールの進行状況

完了

機能(F):

インスタンス機能

- データベース エンジン サービス
 - SQL Server レプリケーション
 - 検索のためのフルテキスト抽出とセマンティック抽出
 - Data Quality Services
- Analysis Services
- Reporting Services - ネイティブ

共有機能

- Reporting Services - SharePoint
- SharePoint 製品用 Reporting Services アドイン
- Data Quality Client
- クライアント ツール接続
- Integration Services
- クライアント ツールの旧バージョンとの互換性
- クライアント ツール SDK
- ドキュメント コンポーネント
- 管理ツール - 基本
 - 管理ツール - 完全
- 分散再生コントローラー
- 分散再生クライアント
- SQL クライアント接続 SDK

再頒布可能な機能

機能の説明:

SQL Server インスタンスのインスタンス機能は、構成と操作が、他の SQL Server の複数のインスタンスを、同じコンピューターでサイ

選択した機能に必要なコンポーネント(P):

インストール済み:

- Windows PowerShell 2.0
- Microsoft .NET Framework 3.5
- Microsoft Visual Studio 2010 再頒布可能ファイル
- Microsoft .NET Framework 4.0

メディアからインストール:

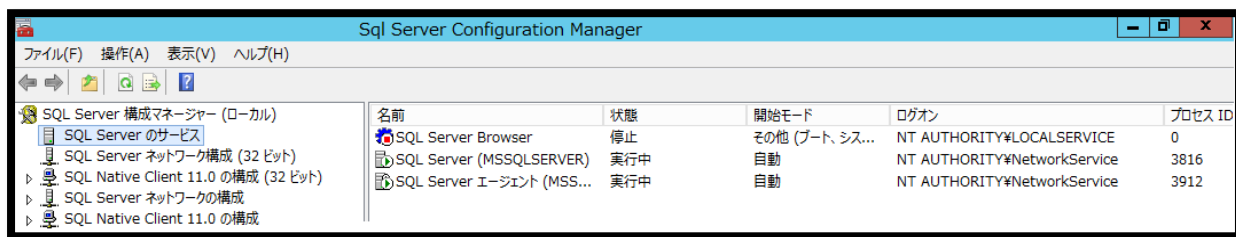
- Microsoft Visual Studio 2010 Shell

サービス アカウント 照合順序

各 SQL Server サービスに別々のアカウントを使用することをお勧めします(M)

サービス	アカウント名	パスワード	スタートアップの種類
SQL Server エージェント	NT Service*SQLSERVERAGENT		手動 ▼
SQL Server データベース エンジン	OAPH*administrator		自動 ▼
SQL Server Browser	NT AUTHORITY*LOCAL SERVICE		無効 ▼

9. サービスアカウントの設定



The screenshot shows the SQL Server Configuration Manager window. The left pane shows the tree view with 'SQL Server のサービス' selected. The right pane displays a table of services.

名前	状態	開始モード	ログオン	プロセス ID
SQL Server Browser	停止	その他 (ブート、シス...	NT AUTHORITY\LOCALSERVICE	0
SQL Server (MSSQLSERVER)	実行中	自動	NT AUTHORITY\NetworkService	3816
SQL Server エージェント (MSS...	実行中	自動	NT AUTHORITY\NetworkService	3912